

憲法のリテラシー

——問いから始める15のレッスン

横大道 聡 = 吉田俊弘

担当編集から 書名の“リテラシー”とは、「読み書きなど基本的な教養の知識や能力があること」と説明されます。本書は憲法学について検討する全15章のレッスンと、憲法教育について教育論から考える3つのインターロード（間奏）を通じて、主体的に憲法に関わっていくための新たな視点や知識を読者に示し、それを活かす能力をも育むことを目指すものです。高校で憲法を教えた教育学者の発する素朴な疑問から出発して、憲法学者が問いの本質へと掘り下げて解説しており、憲法教科書だけでは学べない世界が広がっています。

本誌2018年4月号（451号）～2020年3月号（474号）に連載された「探検する憲法——問いから始める道案内」を再構成した本書ですが、模索する「探検」の道中記だった連載は、探検で得られたものをまとめた「旅の軌跡」へと姿を変え、次に続く人に託す「空白の残る地図」ともなっています。著者たちが探検のなかで見つけた「憲法のリテラシー」とは何なのか、私たちはそれをどのように活かすことができるのか、道は読者の足元へと続いています。（鈴木・清田）

Index 総論・統治・人権の三部構成で、興味のあるところから読み進められます！

第一部 総論

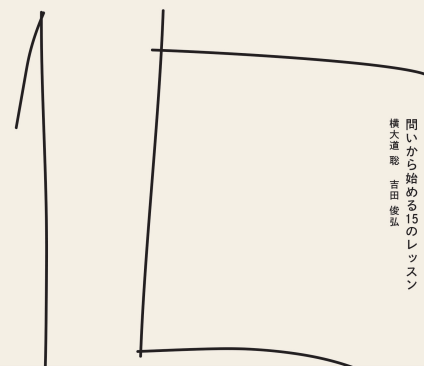
- 第1章 憲法とは何か
- 第2章 なぜ憲法典を制定するのか
- 第3章 どのように憲法を制定するべきか
- 第4章 どのような憲法典を作るのか
- 第5章 どうやって憲法を変えるのか
- インターロード① 憲法をどう教えるのか

第二部 統治

- 第6章 権力分立とは何か
- 第7章 どのような執政制度にするのか
- 第8章 どこまで国民は統治に関わるのか
- 第9章 どのように憲法を守るのか

CONSTITUTIONAL LITERACY:
15 LESSONS STARTING WITH A QUESTION
YOKODAIDO SATOSHI, YOSHIDA TOSHIHIRO

憲法のリテラシー



問いから始める15のレッスン
横大道聡 吉田俊弘

「なぜ」が「気づき」に変わる

憲法学と教育学のコラボレーション
全15章のレッスンと3つのインターロードで
憲法をより深く捉えよう



——用途—— ——対象——
学習 研究 学部 研究 一般



2022年5月発売／276頁／定価2970円（税込）
A5判／並製

- 第10章 いかにして緊急事態に備えるのか
- インターロード② どのように主権者を育てるのか
- 第三部 人権**
- 第11章 なぜ人権を憲法で保障するのか
- 第12章 何を人権として保障するのか
- 第13章 憲法は国際人権とどのように向き合うのか
- 第14章 いつ人権の制約は正当化されるのか
- 第15章 憲法の保障は憲法の敵にも及ぶのか
- インターロード③ 人権をどう教えるのか

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

